

カトリック河原町教会だより

2016年10月

ヨゼフ・マリア 村上眞理雄神父 一年祭追悼ミサをささげて 9.4



昨年9月4日に86歳で
帰天された村上眞理雄
神父の一年祭追悼ミサ
が、4日(日)10時半から
大塚司教と一場神父、大
塚乾隆助祭の共同司式
でささげられました。

司教はミサの中で、イエ
スの弟子として従って行
くには、その教えを実行
すること、それに伴う困
難に耐え続ける覚悟と犠
牲、忍耐が必要であると
強調されました。そして、

「わたしたちは人生の中で大切なものを選択しながら生きていますが、神の愛に信頼し応えることを最優先にした選択をすること、それには努力や犠牲が伴う」と語られました。

また、「村上眞理雄神父は司祭叙階から60年、信仰の行いをもって毎日を神への感謝の気持ちで過ごされた」と話されました。そして、「感謝とは、神の愛に包まれ、何の不平も愚痴もなく自らを神にささげることであり、日々の生活の中で積み上げるものです。わたしたちも、何よりも神への信頼をもって歩いていきましょう」と語られました。

この日は、ちょうどバチカンでマザー・テレサの列聖式が行われる日にあたりました。
(編集委員)

敬老感謝ミサをともに

9月18日、10時半に敬老感謝ミサが行われました。
75歳以上、102名の信徒がミサに参加、その後の懇親会では53名の方が和やかな交流のひと時を過ごしました。
キム神父のお祈りに始まり、今年100歳を迎えられた、瀧野徳太郎さんのスピーチがありました。昼食後は南米ペルーの民族音楽が演奏され、珍しい楽器を使った異国情緒あふれる美しい音楽を楽しみました。
(編集委員)



土曜学校子どもたちから
手作りクッキーのプレゼント



演奏/アントニオ&エンリケさん



「わたしたちの地球のための祈り」 教皇フランシスコ『回勅 ラウダート・シ』から

全能の神よ、
あなたは宇宙全体の中に、
そしてあなたの被造物のうちで
もっとも小さいものの中におられます。
あなたは、存在するすべてのものを
ご自分の優しさで包んでくださいます。
いのちと美とを守るよう
あなたの愛と力をわたしたちに注いでください。
だれも傷つけることなく、兄弟姉妹として生きるために
わたしたちを平和で満たしてください。
おお、貧しい人々の神よ、
あなたの目にはかけがえのない
この地球上で見捨てられ、
忘れられた人々を救い出すため、
わたしたちを助けてください。



世界を貪るのではなく、守るために
汚染や破壊ではなく、美の種を蒔くために
わたしたちのいのちをいやしてください。
貧しい人々と地球とを犠牲にし利益だけを求める人々の
心に触れてください。
それぞれのものの価値を見いだすこと、
驚きの心で観想すること、
あなたの無限の光に向かう旅路にあって
すべての被造物と深く結ばれていると認めることを、
わたしたちに教えてください。
日々ともにいてくださることを、あなたに感謝します。
正義と愛と平和のために力を尽くすわたしたちを、
どうか、勇気づけてください。

† 教皇フランシスコの回勅『ラウダート・シ』(=主はたたえられますように)の題名は、アジジの聖フランシスコの『太陽の賛歌』の一節からとられたものです。環境的、社会的危機にある現代に生きるキリスト者として、この祈りをささげましょう。

「信仰共同体を体験する」土曜学校 夏の錬成会 8.8～8.10

テーマ 「いつくしみふかい神さま～やさしさと愛するきもち～」

8月8日(月)～10日(水)、土曜学校の錬成会が、京都府南丹市「日吉山の家」で行われました。キム神父様の同行で、小学生14名・中学生6名・高校生2名と大人14名の計36名が参加しました。お祈りとご援助で支えてくださった教会の皆様、心より感謝いたします。

WYDの直後、お疲れのところを参加してくださったキム神父様、この日を心待ちにしていた小学生、小学生をお世話するサブリーダーとして参加した中高生、錬成会を支えるサポーター、縁の下の力持ちの保護者の皆様、そして、長時間かけてカテケージスやイベントの準備をしたリーダー。錬成会の3日間は、参加者全員にとって、神のいつくしみのなかで信仰共同体を体験し、信仰の恵みを再認識する貴重な時間でした。(教育部 奥埜さと子)

◆カテケージスから学んだこと◆

- ★「いつくしみ」は「やさしさ」とわかった。(小2)
- ★「100匹の羊」の話が心に残った。飼い主が自分の危険も考えず、1匹の羊をさがしたからすごいと思った。(小4)
- ★「いつくしみ深く」の意味、「巡礼」という言葉を知った。(小5)
- ★悔い改めて、ゆるしの秘跡を受けてやっと罪がゆるされることがわかった。(小5)
- ★分かち合ったことは、よい羊飼いは神さまだということ。わたしもよい羊飼いたいになりたい。(小6)
- ★「いつくしみ」は「神さまからの恵み」だと思った。(中1)

■楽しかったはじめての錬成会(小2の感想文から)

- ◇電車の中でゲームやお菓子を交換して楽しかった。きもだめしは、こわかったけど楽しかった。
- ◇打ち上げ花火を生で初めて見た。とてもきれいだった。
- ◇日吉ダムの中が寒かった。外に出たら暑かった。
- ◇「はんごうすいさん」で玉ねぎを切った。どうやって三日月みたいな形に切れるのかがわかってうれしかった。

■いろいろな体験がいっぱい(小3・4・5の感想文から)

- ◇キャンプファイヤーの出し物でマイクを使うとき緊張した。
- ◇おくどさんでごはんを炊く時、火のおこし方がわかった。
- ◇川がつめたくて気持ちよかった。小さなカニ、サカナが泳いでいて、すてきだなと思った。
- ◇一番よかったのは「おくどさん」でごはんを作ることで、昔にいる気分で作った。
- ◇きもだめしは、去年とくらべてとてもこわくてどきどきした。
- ◇キャンプファイヤーで、クイズや猛獣狩りゲームをしてとても楽しかった。3日間は早かった。



■最後の錬成会(小6の感想文から)

- ◇川遊びで友だちとミニ水族館を作った。すごく楽しかった。来年はサブリーダーとしてがんばりたい。
- ◇一番楽しかったのは「きもだめし」で去年よりもこわかった。

クリアするとおもちゃがもらえ、あとで友だちと交換して、とても楽しかった。来年はサブリーダーとして参加したい。

◇三日間のなかでとくに楽しかったのはキャンプファイヤーだ。出し物を決める時、今年は班長だったので、サブリーダーといっしょに決めた。本番はうまくはできなかったけれど、みんな楽しそうだった。来年はサブリーダーで来たい。

■初めてのサブリーダー(中1の感想文から)

- ◇最初は何をしてよいかわからなかったの、先輩のサブリーダーに指示してもらわないと動けなかった。「きもだめし」やキャンプファイヤーの準備をしていくうちに積極的に動けるようになった。2日目からは、少しずつ役に立てるようになってうれしかった。来年はもっと役に立てるようがんばりたい。
- ◇リーダーやサポーターに教えてもらい、どうにか仕事ができた。小学生の時は、リーダーやサポーター、サブリーダーは楽しく、楽しそうにしているなと思っていたが、想像以上にたいへんだった。



■3回目のサブリーダーとして(中3の感想文から)

- ◇今年は1ヶ月前から、「きもだめし」の準備をがんばった。広島巡礼からの連続でとても疲れていたが、錬成会を成功させたかった。広島巡礼の帰りのバスの中でも、他のサブリーダーと「きもだめし」の段取りを決めた。結果、リーダー会議でいつも厳しいリーダーがほめてくれてうれしかった。
- ◇今回は自ら進んで行動できたし、まわりから学ぶことが多かった。来年は小学生ともしっかりと接していけたらいいと思う。

■高校生のサブリーダー(高1・2の感想文から)

- ◇前回参加した中1の時は、先輩のサブリーダーがいて何もなかった気がする。今回はサブリーダーの中で最年長になり、感じたことも全く違った。今までとは何か違う楽しさがあった。また、自分が小学生の時にお世話になったリーダーたちに、感謝の気持ちがわいた。
- ◇小学生のあつかいは大変だが、また、かわいさに気づいてお世話をするのがとても楽しかった。
- ◇中学のときよりは、サブリーダーとして小学生たちの世話ができたと思う。キャンプファイヤーの出し物がなかなか決まらなかったのが大変だったが、最終的には皆で協力して面白くできてよかった。

ワールドユースデー2016に参加して



テーマ：『神のいつくしみ』

「あわれみ深い人々は幸いである。
その人たちはあわれみを受ける」(マタイ5・7)



■ポーランドで開催されたWYDのテーマは“いつくしみ”です。その意味をわからずに私は旅立ち、巡礼の中でポーランドの人々の思いといつくしみを痛いほど感じました。ホームステイ先で感じたあの温かさと愛情は一生忘れることはできません。同時に普段の生活で、鈍感で感じ取れていない数々の助けやいつくしみを改めて感じました。

何百万人もの青年が一つの国に集まり、国旗を持ち寄り、ともに祈る。その空間はまさに世界平和そのものでした。その光景に思わず涙が溢れました。そして、本大会終了後に訪れたアウシュビッツ強制収容所は、洗礼名がコルベである私にとっては特別な場所でした。無知な自分にも伝わってくる息苦しさ、喉の渇き、一見美しい光景の向こう側の恐怖に、哀しみに押し潰されそうな感覚を覚えました。

「いつくしみ」という言葉に隠された愛や思いやりを受け取っている恩恵を、日々の生活の中で感じ取れるよう、自分を見直すべきだと思えました。参加させていただいたことに感謝します。(平野 慶和)

■古い煉瓦造りの建物のバルコニーから、目を奪われるような赤い花びら達がこちらを見ている。クラクフはそんな風景が印象的な美しい町でした。WYDに発つ前、松浦司教様から「何かを求め、その意志を持って行くことが大切です」とお聞きし、自分なりの求めるものを胸に旅立ちました。9月に結婚する婚約者も参加することが出来ました。

カテケージスや分かち合いを通して“いつくしみ”とは「優しさや許しなどの愛の気持ちを持つアクション」だと私は考えました。今の世界に必要なことは一人ひとりの愛のアクションだと思います。「相手がどうあろうと自分から変わる」。これが今の私にできる“平和活動”です。

そして、これから新しい家庭を築いていく上で神様は私に何を望んでおられるのか、これも私のテーマのひとつでした。「平和、それは秩序。聖体拝領。家族」、「くつろぐためのソファ」(安楽さ)より、壁を破って人々と出会い、兄弟愛の橋を架ける生き方をイエス様は望んでおられる、「家庭がうまく機能し始めたとき、神のいつくしみに見合う人となる」・・・これらは、私に大きな勇気を与えてくれたパパ様の言葉です。この大会を支えて下さった皆様に感謝しながら、神様からいただいた「いつくしみ」というお恵みを、家庭で、社会で分かち合えるようになりたいと強く思いました。(平野 慶直)

河原町教会9月評議会議事録要約

2016年9月4日(日)

司祭団の報告＝①10/2(9:00山科教会)洛東ブロック司教訪問に多数参加ください。②10/16(12:00からヴァリオンホール)WYD参加者の報告会開催予定

司祭団の報告＝参加者は約80名で無事終了

各部会報告＝(1)典礼部＝①「教区典礼研修会」第3回が8/20西陣教会で開催された。次回は9/24(土)・14:00から西陣教会で開催予定 ②9/4村上眞理雄神父一年祭追悼ミサを行った。(2)財務部＝教会維持費未納・滞納者の確認を終了し順次対策(3)教育部＝**①土曜学校**:①8/8～10の夏の錬成会は無事終了②9/3子どもとささげるミサ③9/10桃山教会にてクッキー作り **②中高生会**:①9/4から2学期開始②9/25コーヒーショップ予定(東北復興支援) **③信徒養成**:①「レクチオ・ディヴィナ」は当分休会 ②待降節黙想会11/26(土)指導:カルメル会 中川博道神父 **④洛東ブロック合同教育部会**:①9/10桃山教会でクッキーを作り9/18敬老会で贈呈②次回部会は10/23・14:00から **⑤教区教会学校研修会**:8/27(土)「子どもたちにぜひ伝えておきたいこと」にリーダー4名参加 **⑥キリシタン研究会**:12/11京都キリシタン研究会主催で「高山右近列福感謝巡礼」を予定(4)施設管理部＝10/30教会美化デー(5)広報部＝ウェブサイト委員会から、教会までの映像による道案内の掲載案が出され、当評議会で承認された。

その他報告＝ぶどうの会から:12/11手作りミニバザー開催予定

行事予定＝4ページ行事予定欄に記載

協議事項＝(1)敬老感謝ミサと懇親会:①昼食、お土産等は手配済②余興はペルーの民族音楽演奏(2)10月中主日のロザリオの祈り:先唱者を決める。(3)洛東ブロック司教訪問:①共同祈願を9/15までに決める。②多数の参加者を募る。(4)新聖堂建立50周年記念行事:9/17第2回実行委員会開催。委員は各部会から1名(5)クリスマス実行員会:9/17に開催予定

その他＝(1)高山右近列福式関連:①来週から教会前庭で参加受付を開始 ②10/2(日)が申し込み締め切り(2)「ポケモンGO」の教会敷地登録に関して:教会敷地に登録があり、推移を見守り対応検討

【祈りのことば】

主よ、私たちの目が
兄弟姉妹の中にあなたを
見いだしますように (マザー・テレサ)

◇ 2016年10月・11月の行事予定 ◇
(11月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行事予定
10	1	土	小教区評議員役員交流会 10:00 (ヴィリオンホール)
	2	日	ブロック司教訪問(山科教会) 9:00・ミサ後 司教講話 ロザリオの祈り10月毎日曜日 10:00
	9	日	評議会10月例会 10:30ミサ後
	16	日	WYD参加者報告会 12:00
	22	土	洛東ブロック会議(伏見教会) 14:00
	23	日	世界宣教の日
	24	月	～28(金) 教区司祭黙想会
	30	日	教会美化デー
11	1	火	諸聖人の祭日
	2	水	死者の日 諸死者追悼ミサ 18:30
	3	木	第37回京都南部ウォーカーソン 9:30～14:30
	5	土	評議会11月例会 14:00
	6	日	七五三祝いミサ 10:30 教区物故者追悼ミサ(衣笠教会) 14:00
	13	日	「いつくしみの扉」閉門ミサ 10:30
	20	日	王であるキリスト「いつくしみの特別聖年閉幕」 聖書週間(27日まで)

河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

第37回京都南部ウォーカーソン開催のお知らせ

2016年11月3日(木・祝)

雨天決行

〈カトリック河原町教会にて〉

◇受付開始 8:45

◇開会式 9:30

◇スタート 10:00

(終了予定14:30)



支援金の送り先

- ★東日本大震災復興支援
- ★ムリンディ・ジャパン・ワンラヴ・プロジェクト支援(ルワンダ/義肢装具等の援助)
- ★熊本地震被災者への支援
- ★バングラデシュへの支援

待降節黙想会

テーマ「注意深く、主を待ち望む」

◆日時：11月26日(土) 10:00～16:00

◆講師：中川 博道 神父(カルメル会)

◆場所：河原町教会聖堂

◆持ち物：聖書 筆記用具

※個人黙想の間にゆるしの秘跡を受けられます。



プログラム

10:00～11:00 第1講話
11:00～12:00 個人黙想
12:00～13:00 昼食(各自)
13:00～14:00 第2講話
14:00～15:00 個人黙想
15:00～16:00 ミサ

★1F集会室にお茶の準備がありますので、ご利用ください。

◇訂正とお詫び

2016年9月号2ページの「～沖縄で学んだこと～教区高校生会」の記事内で、感想文を投稿してくれた守口真衣さんと研文乃さんのお名前が入れ替わっていました。訂正してお詫びいたします。
(編集部)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F集会室 / 3F応接室)

火曜日 10:00 (第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修 神父(1F)

19:00 (第1・祝休) 一場 修 神父(1F)

木曜日 15:00 (祝休) 一場 修 神父(1F・3F)

金曜日 15:00 シスター庄子(3F)

19:15 村上 透磨 神父(1F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】 第1水曜日 19:00～20:00 一場神父

【山科教会】 毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】 毎火曜日 10:00ミサ後～11:30

一場神父

【桃山教会】 第1・2木曜日 19:30～20:30

一場神父

◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日 9:30～10:15

※ミサ前にその日の福音を読む集いです。

どなたでもどうぞ。

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

10月6日(木) 14:00

11月17日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇レクチオ・ディヴィナ◇

※しばらくの間休会します。「主日の福音を読む集い」にご参加ください。

カトリック河原町教会だより 2016.10

編集:カトリック河原町教会 広報部 担当司祭:一場 修

住所:〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423

電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021

URL:http://CatholicKawaramachi.Kyoto



教会公式ウェブサイト



教会公式フェイスブック